

平成30年6月25日

地域包括ケアシステム構築の 現状と課題

我孫子市 高齢者支援課

1

我孫子市の高齢者の状況

- 人口 132,296人
- 65歳以上 39,242人
- 75歳以上 19,262人
- 65歳以上の方の割合（高齢化率）
29.7%
- 75歳以上の方の割合
14.6%

（平成30年6月1日現在）

2

我孫子市と近隣市の比較

自治体	人口	65歳以上人口	面積	高齢化率
松戸市	494,733人	124,826人	61.38 km ²	25.2%
柏市	417,218人	106,146人	114.74 km ²	25.4%
流山市	186,863人	44,599人	35.32 km ²	23.9%
野田市	154,348人	45,639人	103.54 km ²	29.6%
我孫子市	132,231人	39,173人	43.15 km ²	29.6%
鎌ヶ谷市	109,782人	30,304人	21.08 km ²	27.6%

平成30年4月1日 現在

(千葉県全体の高齢化率は、平成29年4月1日現在で
26.0%)

3

我孫子市の高齢者人口の推移

年 (4月1日現在)	総人口	65歳以上 人口	75歳以上 人口	65歳以上 の割合	75歳以上 の割合
平成22年	134,986人	30,453人	11,760人	22.6%	8.7%
平成23年	134,911人	31,150人	12,605人	23.1%	9.3%
平成24年	135,053人	32,454人	13,380人	24.0%	9.9%
平成25年	133,923人	34,117人	14,213人	25.5%	10.6%
平成26年	133,558人	35,346人	14,795人	26.5%	11.1%
平成27年	133,044人	36,674人	15,690人	27.6%	11.8%
平成28年	132,715人	37,752人	16,821人	28.4%	12.7%
平成29年	132,401人	38,503人	18,059人	29.1%	13.6%
平成30年	132,231人	39,173人	19,164人	29.6%	14.5%

平成22年～23年は外国人を含まない。

4

様々な問題を抱える高齢者

- ひとり暮らし高齢者の増加
8, 660人 (平成30年6月1日現在・住民基本台帳)
- 認知症を持つ高齢者の増加
金銭管理等が困難になっていると
考えられる高齢者 (認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱb以上)
在宅 約1, 400人
施設 約1, 100人

5

若松地区の世帯の状況

- 世帯数 972世帯
我孫子市全体 58, 753世帯
- 高齢者独居世帯数
182世帯 (18. 7%)
我孫子市全体 8, 660世帯 (14. 7%)
- 高齢者のみ世帯数 (独居を含む)
346世帯 (35. 6%)
我孫子市全体 17, 363世帯 (29. 6%)
(平成30年6月1日現在・住民基本台帳)⁶

若松地区自治会ごとの状況

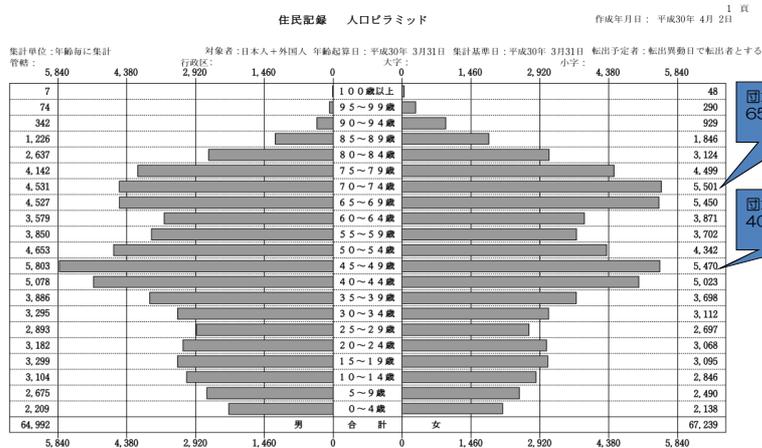
若松地区自治会ごとの高齢化率		平成30年6月1日現在 (前年6月1日)		
自治会名	住民数(人)	うち65歳以上(人)	高齢化率	(75歳以上)人
若松第1自治会	1135 (1123)	292 (283)	25.7% (25.2%)	166 (161)
若松第2自治会	983 (1065)	410 (420)	41.7% (39.4%)	268 (272)
合計	2118 (2188)	702 (702)	33.1% (32%)	434 (434)

7

今後の高齢者数は？

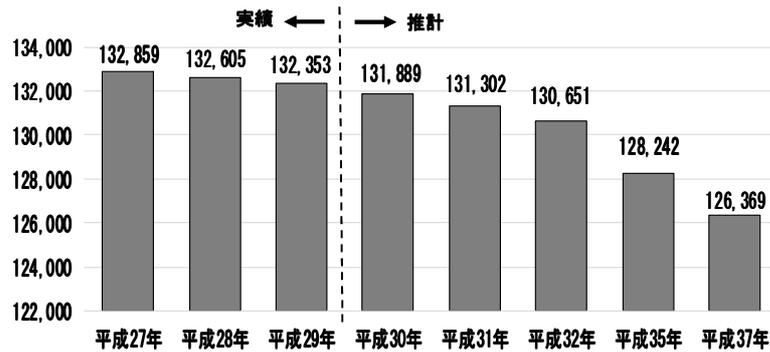
我孫子市人口ピラミッド
平成30年4月1日 我孫子市市民課資料より

[DAR01061]



我孫子市の人口の推計

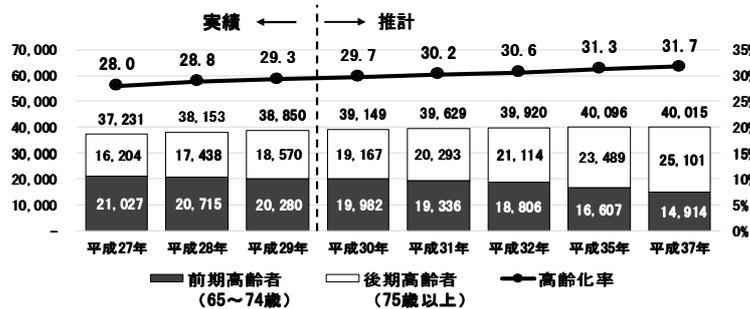
人口の将来推計



資料：我孫子市将来人口推計（各年1月1日）をもとに推計（各年10月1日）

我孫子市の高齢者人口の推計

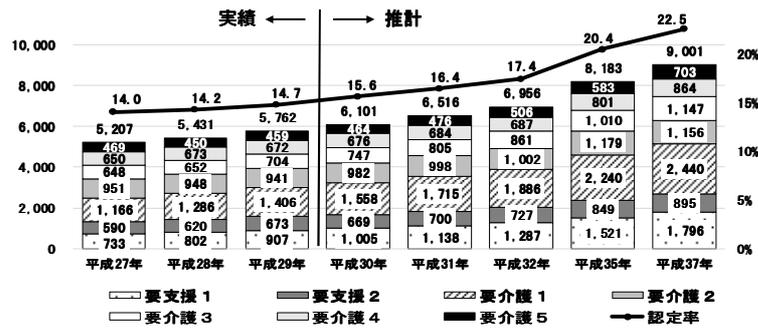
高齢者人口の見込み



資料：我孫子市将来人口推計（各年1月1日）をもとに推計（各年10月1日）

高齢者数は増加傾向が続き、平成29年からの3年間で1,070人増加すると推計されています。平成34(2022)年をピークに減少に転じると推計され、平成37(2025)年には40,015人と減少していく見込みとなっています。

要介護認定者数と 要介護認定率の見込み



資料：高齢者支援課推計（各年10月1日）

第1号被保険者における要介護認定者数は、高齢者数の増加に伴い増加傾向が続くことが想定されます。推計によると、平成29年からの3年間で1,194人増加し、平成37(2025)年には9,001人となるが見込まれます。

11

第7期介護保険事業計画 第8次高齢者保健福祉計画

(平成30年度～32年度)

高齢者となっても住みなれた地域で自分らしい暮らしができるよう、第6期計画に引き続き、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する「**地域包括ケアシステム**」の**深化・推進**に向けより充実を図っていきます。



12

7つの重点施策 (平成30年度～32年度)

1. 総合的な介護予防の推進
2. 日常生活支援サービスの充実
3. 認知症施策の推進
4. 高齢者なんでも相談室の機能の充実
5. 在宅医療と介護の連携の推進
6. 居宅介護サービスの充実
7. 施設介護サービスの充実

13

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

1. 総合的な介護予防の推進
 - 住みなれた地域で自立した日常生活を送るため、要介護状態等となることの予防及び、要介護状態等の軽減若しくは悪化を防止するため、介護予防の取り組みを推進します。
 - 高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取り組みを主体的に実施できるよう、身近な地域の通いの場で行う「介護予防強化型きらめきデイサービス事業」を推進します。
 - リハビリテーション専門職等を活かした自立支援に資する取り組みを推進し、介護予防活動の機能強化を図ります。
 - 人員基準を緩和した訪問型サービス事業所の活用を推進します。

14

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

○ 一般介護予防事業(だれでも参加できる事業) 「介護予防強化型きらめきデイサービス」

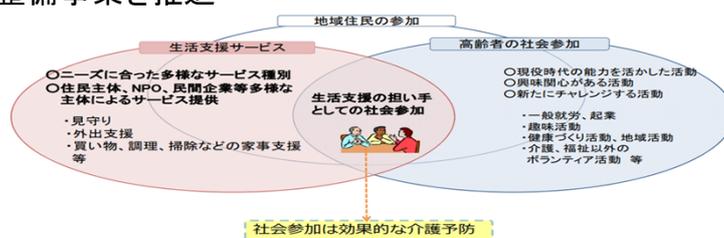
- ・市内22カ所の地域の通いの場のうち、18カ所で活動に介護予防体操を取り入れる
- ・リハビリテーションの専門職が各団体のリーダーに介護予防体操の研修を実施

15

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

2. 日常生活支援サービスの充実

高齢化が進展し、高齢者の生活支援の必要性が増していく。高まるニーズに対応するため、ボランティア、NPO、市民団体、民間企業、自治会等の多様な主体が提供する生活支援サービスの充実・創出を目的に生活支援体制整備事業を推進



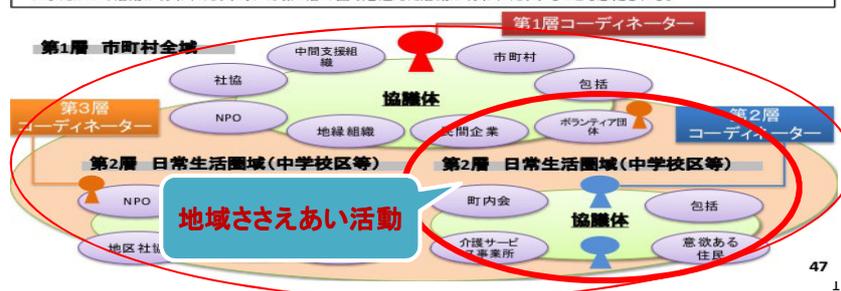
16

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

○ 日常生活支援サービスの充実

コーディネーター・協議体の配置・構成のイメージ

- コーディネーターとして適切な者を選出するには、「特定の団体における特定の役職の者」のような充て職による任用ではなく、例えば、先に協議体を設置し、サービス創出に係る議論を行う中で、コーディネーターにふさわしい者を協議体から選出するような方法で人物像を見極めたうえで選出することが望ましい。
- 協議体は必ずしも当初から全ての構成メンバーを揃える必要はなく、まずは最低限必要なメンバーで協議体を立ち上げ、徐々にメンバーを増やす方法も有効。
- 住民主体の活動を広める観点から、特に第2層の協議体には、地区社協、町内会、地域協議会等地域で活動する地縁組織や意欲ある住民が構成メンバーとして加わることが望ましい。
- 第3層のコーディネーターは、サービス提供主体に置かれるため、その提供主体の活動圏域によっては、第2層の圏域を複数にまたがって活動が行われたり、時には第1層の圏域を超えた活動が行われたりすることも想定される。



47
17

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

2. 日常生活支援サービスの充実

市全域を単位とした活動



「我孫子市高齢者地域ささえあい会議」

平成28年度から活動を開始し、現在は、高齢者に関わる生活支援サービスを洗い出し、「高齢者日常生活困ったときガイド(冊子)」の作成を進めている

18

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

2. 日常生活支援サービスの充実

住みなれた地域(=中学校区)を単位とした活動



「我孫子〇〇地区高齢者地域ささえあい活動」

平成30年度から、我孫子南地区の1か所をモデル地区とし、「我孫子南地区高齢者地域ささえあい活動」として、我孫子南地区社協がこれまで自主的に実施してきた住民参加型の見守り活動「我孫子南フレンドネット委員会」をベースに、市と市社協も協働させていただき、更なる活動の充実と地域課題の抽出を目指す

19

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

2. 日常生活支援サービスの充実

「我孫子高齢者地域ささえあい活動」の位置づけ

〇市では、一律で何か新しい会議を設置したり、活動を始めたりということではなく、これまでの住民の皆様が各地域のニーズを踏まえ既に取り組まれている活動に、市や市社協が協働することで更なる活動の充実や拡大、活動のしやすさにつなげていきたいという方針

〇来年度以降は、他の5地区でも開始していきたい

20

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

2. 日常生活支援サービスの充実

○ 地域住民による高齢者等の見守り活動

高齢者の地域での生活を支援するため、地域住民による高齢者見守りネットワークの推進と活動の支援を行うとともに、未整備地区でのネットワーク構築を図ります。

☆「我孫子南フレンドネット委員会」が平成29年度千葉県SSKプロジェクト高齢者地域支えあい活動団体表彰において、奨励賞を受賞！！

21

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

○ 民間企業による高齢者等の見守り活動

「我孫子市孤立死防止事業」

- ・平成26年度に事業開始
- ・通常の訪問業務の中でさりげない見守りを行い、何らかの異変を発見した場合、市に連絡する

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社千葉北支店、我孫子市新聞販売店店主会、我孫子郵便局、一般社団法人千葉県LPガス協会、株式会社シニアライフクリエイト、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、かもめガス株式会社印西支店、CDC情報システム株式会社、生活協同組合コープみらい、生活協同組合バルシステム千葉、生活クラブ生活協同組合、千葉県ヤクルト販売株式会社(我孫子センター・湖北センター・布佐センター)、東京電力株式会社(東葛支社・成田支社)、東日本ガス株式会社、明治牛乳飯田牛乳店、明治安田生命保険相互会社柏支社、森永ミルク屋さん21、ヤマト運輸株式会社我孫子支店 等 41事業所が協力

22

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

3. 認知症施策の推進

- 認知症になっても住みなれた地域で安心して暮らし続けるために、医療機関の受診や介護保険サービス等の利用につなげるための相談や支援の強化を図ります。
- 認知症の人や家族だけでなく、誰もが集うことができる場として「認知症カフェ」の設置箇所数を増やし、認知症の人や家族への更なる支援を充実します。
- 認知症サポーター養成講座等を通して、一般市民や小中学生等幅広い世代へ認知症に関する正しい知識の更なる普及、認知症の理解と支援を推進します。

23

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

4. 高齢者なんでも相談室の機能の充実

- ・現在、市内5カ所(市内4地区及び高齢者支援課内)に高齢者なんでも相談室を設置
- ・平成29年度延べ相談件数 18,953件
- ・平成29年度、4地区のなんでも相談室職員を1名ずつ増員し機能強化
- ・働きながら介護に取り組む家族や、仕事と介護の両立に不安を抱える家族が、相談しやすい高齢者なんでも相談室とするため、6月から土曜日、日曜日にも相談日を設ける
- ・第7期計画期間内に、我孫子南地区の高齢者なんでも相談室の設置の検討と準備を進めている。

24

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

5. 在宅医療と介護の連携の推進

- ・住みなれた地域で安心して在宅医療を受けることができるよう、我孫子医師会と緊密に連携しながら、在宅医療介護連携推進協議会や多職種による研修会等を通して、地域の医療機関と介護サービス等の関係者の連携を推進していきます。また、在宅医療と介護サービスが一体的に提供できるよう、医療関係者と介護関係者の情報連携を進めます
- ・高齢者が安心して在宅医療を受けられるよう情報提供を行い、在宅医療についての理解の促進を図ります

25

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

○ 在宅医療と介護の連携の推進(市民への広報)

読む得! 在宅医療と介護の連携 ～身近な事例から～ 第1回

「かかりつけ医師」と「ケアマネジャー」

足腰が弱り通院が難しくリハビリと訪問診療を始めたケース

要介護2^(※1)の認定を受けている男性(80代後半)は介護サービスを利用し、杖のレンタルと自宅玄関などに手すりを設置しています。現在、糖尿病と高血圧のため月1回かかりつけの医院に通院していますが、腰痛がひどく、また足腰の筋力も弱まり転倒することが多く、妻も体を支えられなくなってきたため、通院も難しい状況です。

医師の住診^(※2)、ケアマネジャー^(※3)の介護サービス計画の見直しにより、週1回のリハビリを始めました。また、通院できない間は、医師が自宅に月1回の訪問診療^(※4)に来ています。男性は表情も明るくなりリハビリにも動んでいます。

☆ポイント☆ 通院ができなくなったとき、まずはかかりつけ医師やケアマネジャーに相談してみましょう。身体の状態や介護の状況に応じ、訪問診療や適切な介護サービスが受けられます。

(※1) 要介護度。介護認定を受けての自立・要支援・要介護に区分される
(※2) 通院できない方の要請を受けて、医師がその都度訪問して診療を行うこと
(※3) 介護サービスを利用する際、サービスの計画や調整を行う専門職
(※4) 計画的・定期的に医師が訪問して診療を行うこと

第2回は歯科医師・薬剤師編を予定しています。
☎ 高齢者支援課 ☎7185-1112

読む得! 在宅医療と介護の連携 第3回 ～身近な事例から～

訪問しています!「歯科医師」

歯科医師の訪問で、お口のケアができるようになったケース

脳梗塞後、下半身にまひが残り自宅で療養する女性(70代前半)が、誤嚥性肺炎で入院しました。入院先では口腔内の汚れや入れ歯が合わないことも肺炎の原因であったとの説明があり、歯科受診を勧められました。退院後は体力の低下から覆たきりとなったため、歯科医師に訪問診療を依頼しました。

訪問により、入れ歯の修理と歯垢の除去を行いました^(※)。その後は食事もちきんと摂れるようになり、体力も回復してきています。また、介護する家族へは、夜は入れ歯を外して洗うなどの指導もあり、口腔内の清潔を保つことができています。

(※) 症状などによっては、外来受診と同じ診療が行えないことがあります。

☆ポイント☆ 口腔機能の低下や不衛生は肺炎など全身状態にも影響します。覆たきりになってもお口に気を付け、口腔内にトラブルがある場合は訪問歯科診療を利用しましょう。

【歯科医師会 訪問歯科診療に関する相談窓口】

- 我孫子駅北口・南口地区…アライ歯科クリニック ☎7186-0802
- 天王台・東我孫子・湖北地区…小川歯科クリニック ☎7184-5621
- 新木・布佐地区…あらかぎ歯科クリニック ☎7187-4182

第4回は訪問看護編を予定しています。
我孫子市在宅医療介護連携推進協議会 広報部会
☎ 高齢者支援課 ☎7185-1112

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

6. 居宅介護サービスの充実

- ・日中、夜間を通じ要介護高齢者の在宅生活を支える**定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス**は、ケアマネジャー等を通じて具体的な利用ニーズの把握に努めるとともに、運営の支援策を検討します。
- ・通いを中心に訪問と泊まりのサービスを提供する**小規模多機能型居宅介護サービス**の利用を促進するために、引き続きサービス内容の周知を図り、利用者の増加につなげていきます。

27

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

7. 施設介護サービスの充実

施設の現状

- ・特別養護老人ホーム(地域密着型含む)
8施設 定員618床 入居希望者 約300名
- ・介護老人保健施設 4施設 定員445床
- ・グループホーム 13施設 定員172床

28

7つの重点施策と現況 (平成30年度～32年度)

7. 施設介護サービスの充実

要介護となった場合も「介護保険サービスを利用しながら、自宅で介護を受けたい」とするニーズに対応するため、医療から自宅で生活できる状態に回復することを目的に、心身の機能回復訓練や必要な医療、並びに日常生活上の介護を行う介護老人保健施設の整備を図っていきます。

29



我孫子市
マスコットキャラクター
手賀沼のうなぎちゃん

ご清聴ありがとうございました。

30